高齢者・学校統廃合・再エネ他

秋田しづか（諸派）

問　相原や玉川学園等の公設デイサービスについて地域の状況を鑑みて残せないか。

いきいき生活部長　公設デイサービスは28年度末に終了することとしました。市としては、引き続き、指定管理者の意向に沿って都との調整を進めていきたいと思います。

問　本町田地区・南成瀬地区の学校統廃合ではほとんど補助金が出なかった。国や都の補助金制度が充実するまで待つべきでは。

学校教育部長　児童生徒数減少のスピードが速まっています。少子化や学校施設の老朽化も進んでいますので、計画的に取組を進めています。

問　市の公共施設の電力調達の現状は。

環境資源部長　市の公共施設全体の電力使用量のうち、約65％が温室効果ガス排出量ゼロの電力になっています。

市の生成ＡＩの取組について

石川好忠（自由民主党）

問　市の生成ＡＩの取組状況と今後の利活用は。

榎本副市長　市民向けとして、ＡＩナビゲーターの提供、職員向けに、議事録作成アプリを導入など、今後も、行政サービス改革と職員の働き方改革につなげていきます。

問　町田市立総合体育館の大規模改修に向けての現状と改修に向けた取組状況は。

文化スポーツ振興部長　25年度から26年度にかけて基本実施設計を進め、27年度の工事着手を目指していきます。

問　境川の調節池（金森・木曽東・木曽西）工事の進捗状況及び神奈川県管理区間の河川整備状況は。

下水道部長　金森は28年度、木曽東は26年度、木曽西は35年度の事業完了を予定しています。県管理区間について、用地取得や改修工事を進め、33年度完了を目指しています。

市政の歩み後世に継承されたし

今村るか（まちだ市民クラブ）

問　5期20年の市政の取組を市長目線、考え方で、後世に伝えることができるのは現石阪丈一市長のみです。町田の歴史を後世に継承するため、多様な施策や印象深い出来事などを著書として世に出されたい。その使命が市長にはある。最後にこの間のご尽力に心より敬意を表します。

市長　市長に就任して20年、「広報まちだ」に、カワセミ通信を毎月連載してまいりました。私としては、このカワセミ通信を5期20年の記録だというふうに思っておりまして、20年ぐらい先には、町田市史の中でどういう形でどういう施策をしてきたかというのを少しぐらいは、私の名前というより市の施策として歴史に残していくという作業はあろうかと思いますので、その辺に譲りたいというふうに思っております。

高齢者が安心して暮らすために

佐藤和彦（まちだ市民クラブ）

問　石阪市政がこれまで進めてきた認知症施策の評価と今後、期待することは。

市長　ほかの自治体に先駆けてＤカフェを開始、まちだＤサミット開催、市民後見人の育成、こうした取組をいち早く着手し、推進をしてきたところであります。認知症とともに生きるまちが実現することを期待しております。

問　成瀬・成瀬台地区で検討されている新たな支え合い交通の取組への支援は。

都市づくり部長　運行実現に向けて事業者等と調整を行うなど、支援していきたい。

問　高齢者が社会参加するために、グループの活動場所の確保が大切と考えるが、市が行っている支援は。

いきいき生活部長　高齢者支援センターが中心となって地域の事業所などに働きかけ、マッチングを行っています。

笑顔あふれる町田を目指して

熊沢あやり（自由民主党）

問　町三小跡地利用についてはどのように考えているか。

政策経営部長　校庭や校舎があるエリアについては、盆踊りや運動会などの地域のお祭りやイベントがこれまでどおり開催できるようにします。

問　金井小に在校している生徒も今回の本町田ひなた小に移動したことによる緩和と同じようにやるべきだが。

学校教育部長　学区変更時の28年度のときに金井小学校に在校している生徒、2年生から6年生については、変更前の金井小学校に引き続き通学することも、変更後の藤の台小学校に通学することも、どちらも選択できます。

問　流用や不用の考え方、財産管理の考え方を職員にしっかりと理解してもらうべき。

総務部長　引き続き、研修等を通じて能力向上に努めていきたいと思います。

人口減少・少子高齢化社会へ

藤田学（自由民主党）

問　人口減少・少子高齢化社会における地方行政の役割について、市長の行政経営に対する想いとともに伺う。

市長　コスト意識を持ちながら、市民目線のサービスや価値を提供し続けることが重要であると考え、そのような思いを持って行政経営改革を進めてまいりました。

問　新公会計制度の取組は。

市長　施策の目的を改めて共有し、組織の課題を自分事として捉えるという意識改革に大きな効果をもたらしていると思っております。

問　心の教育サポートと家庭支援の児童相談所、子ども家庭支援課、児童養護施設等と学校との連携は。

学校教育部長　速やかに相談、通告し、必要に応じて合同で会議を開催して対応を協議しています。児童養護施設とは、情報を共有しています。

災害対策・町田市手話言語条例

松葉ひろみ（公明党）

問　学校跡地において引き継ぐ避難施設機能をどのように考えているか。

市長　給水機能としての応急給水栓や受水槽など、災害時のインフラ支援に当たる設備を引き継いでまいります。皆様の心のよりどころになるよう、引き継ぐ避難施設機能の検討を進めてまいります。

問　避難施設へ向かうことが難しい在宅避難の災害時要配慮者が、物資等の情報を得る方法はあるか。

防災安全部長　オープンチャットなどで情報習得ができるよう準備を進めています。

問　（仮称）町田市手話言語条例制定に向けての進捗状況は。

地域福祉部長　27年11月頃までには、町田市障がい者施策推進協議会から条例案の答申を受けて、28年第1回市議会定例会に上程する予定です。

駐輪場・学園前踏切・スポーツ

渡辺さとし（まちだ市民クラブ）

問　鶴川駅と玉川学園前駅周辺の駐輪場の利用状況を調査し、今後の駐輪場整備方針に反映すべきでは。

道路部長　利用状況やニーズを確認し、整備方針の検討を行っていきたいと思います。

問　鶴川5号踏切除却に向け、町田3・4・32号の道路整備をどのように進めるか。

道路部長　優先整備路線に位置づけされていないため、未定となっています。優先整備路線は、事業の継続性や実現性などを考慮した上で選定を行う予定となっています。

問　学校統合等によるスポーツを「する」場への影響とそれに対する市の対応は。

文化スポーツ振興部長　利用団体の活動場所や時間等に変更が生じると認識しています。市内スポーツ施設の利用案内や近隣学校施設の利用に向けた調整を行っていきます。

ＬＧＢＴＱ＋・香害・緑地保全

笹倉みどり（まちだ市民クラブ）

問　多様な性の尊重。ファミリーシップ制度の導入を。

市民部長　導入自治体が少しずつ増えていることは認識しています。導入は、社会情勢や近隣自治体などの動向を注視し、研究していきます。

問　市民病院における化学物質過敏症の患者への配慮は。

市民病院事務部長　業者が白衣等全ての品目について抗菌剤が配合された洗剤で洗濯しています。今後も無香料洗剤であること及び抗菌剤の配合の有無など、品目ごとにしっかりと把握し、適切に対応できるよう努めていきます。

問　市境の公園・緑地における落枝等危険木への対応は。

都市整備担当部長　伐採や剪定、作業に時間がかかる場合は、一時的に区域の閉鎖等を行っています。所有者が市ではない場合、速やかに連絡し、対応をお願いしています。

市の新たな財産になる事を願い

中川幸太郎（諸派）

問　新たな学校づくりにおける跡地活用の検討状況は。

政策経営部長　廃校予定の学校は、跡地活用の検討を進めている町田第三小を含め小、中学校合わせて20校です。学校統合により閉校となるまでに次の活用策を決定します。

問　町田市有料広告事業について現状と課題は。

総務部長　効果額は24年度が6369万円、23年度比1492万円の増額となっています。多くの方に参加いただくことが課題と考えています。

問　有料広告やネーミングライツについて分かりやすく周知することは企業からの応募、市民の理解を得るのに大事なので町田市でも他市の事例と同様の取組ができないか。

総務部長　ご提案いただいたことも踏まえ、他市の事例を参考にホームページでの周知内容を検討していきます。

小児インフル補助／子育て支援

おんじょう由久（公明党）

問　小児インフルエンザワクチン任意接種への助成を。経鼻生ワクチンも対象に。

保健所長　子育て世代を支援することを目的として、今後の事業実施に向けて検討を進めていきます。都の事業では、25年度から経鼻生ワクチンも補助対象となっています。

問　保護者の就労と子育ての両立のため、小一の壁と言われる朝の居場所づくりの全校対応と夏休みの学童への配食の全施設対応が必要だが。

学校教育部長　統合校2校以外の小学校においてもできるだけ早期に朝の子どもの居場所づくり事業を実施できるよう調整を行っています。

子ども生活部長　鶴川エリアでの本格実施やそれ以外のエリアでのモデル事業の実施について、各エリアの給食センター事業者や所管部署と話合いを進めています。

経鼻生ワクチン接種のイメージ